



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ダイオーズ

コード番号 4653 URL http://www.daiohs.com

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大久保 真一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 稲垣 賢一 TEL 03-3438-5511

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有 (当社ホームページ等)

四半期決算説明会開催の有無：有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	12,423	22.2	886	20.1	887	13.3	550	18.0
27年3月期第2四半期	10,166	9.6	737	2.2	783	4.6	466	9.2

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 543百万円 (△26.4%) 27年3月期第2四半期 738百万円 (28.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	40.96	-
27年3月期第2四半期	34.75	-

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	15,205	11,100	73.0	825.98
27年3月期	14,556	10,825	74.4	805.54

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 11,100百万円 27年3月期 10,825百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	-	0.00	-	20.00	20.00
28年3月期	-	0.00	-	-	-
28年3月期(予想)	-	-	-	23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 27年3月期期末配当金の内訳 普通配当15円00銭 特別配当 5円00銭

28年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 特別配当 8円00銭

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,199	11.4	1,863	22.0	1,836	10.6	1,148	9.1	85.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	13,439,142株	27年3月期	13,439,142株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	40株	27年3月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	13,439,122株	27年3月期2Q	13,422,395株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間において当社グループは、以下のような施策を実行しました。

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

## ① 国内部門

当第2四半期における我が国経済は政府主導の金融緩和と政策により、長年続いたデフレ経済からの完全脱却に向けて着実に前進しています。そのような社会環境の下、当期は当社国内部門の第2期中期計画の2年目にあたり、B to Bに特化した総合サービス会社の完成に向け、「エリア担当制営業管理システム」、「拠点運営の標準化による合理化」、「既存顧客別管理システム」という中心的戦略を確実に進捗させました。その結果、売上高は期初計画を6%上回り、営業利益も同様に期初計画を9%上回る実績となりました。

国内部門に於いては、取扱商品である、コーヒー、ボトルウォーター、ティーサーバーの飲料関連の全商品に加え、ダストコントロール、ダイオーズカバーオール(清掃事業)等の環境衛生商品の全商品に於いて、新規獲得件数及び売上高が増加し、また、ルートサービスの質に対する既存顧客からの高評価により解約顧客件数も年々減少し、契約顧客件数は極めて順調な増加傾向にあります。当第2四半期は営業日数換算では前年同四半期比マイナス1日というビハインドである環境下にも関わらず、直営の全拠点が前年同四半期の売上高を上回る好業績となり、加盟店への出荷売上高も順調に増加しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における国内部門の売上高は51億52百万円(前年同四半期比10.2%増)となり、5期連続の増収となりました。一方、営業利益についても運営効率をアップさせるための拠点分割や既存顧客へのサービス対応の迅速化を図るための拠点立地の見直し等、運営面全般の合理化を促進させた結果、5億42百万円(前年同四半期比16.0%増)と増加し、4期連続の増益、対売上構成比で10%となり、当第2四半期累計期間における売上高、営業利益は全て過去最高の実績を更新する結果となりました。

## ② 米国部門

米国のマクロ景気は金融緩和による影響もあって堅実な状況が続いており、全米平均失業率も当第2四半期末時点で5.1%と前年同四半期末の5.9%と比べて0.8ポイントも改善しております。一方、国際的な原油価格急落に伴い、シェールオイル産業などの影響が大きいテキサス、オクラホマ両州では局地的な雇用環境悪化が継続しています。

このような環境下において、米国部門では5月のペンシルバニア州ピッツバーグ支店、オハイオ州コロンバス支店に引き続き、8月に小規模買収を通じてニューメキシコ州アルバカーキ支店を開設いたしました。その他の既存拠点もテキサス、オクラホマなどの石油産業集積地区を除けば堅調に売上が推移した結果、売上高は73億63百万円(前年同四半期比32.3%増、ドルベースでは12.7%増)となりました。

利益面ではコーヒー生豆相場下落に伴い仕入原価低減効果などがあった一方で、既存拠点での売上増加を狙った新規顧客開拓費用の増加もあり、営業利益は4億31百万円(前年同四半期比で26.5%増、ドルベースでは7.8%増)の増益となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は124億23百万円(前年同四半期22.2%増)、売上総利益は70億94百万円(前年同四半期比20.7%増)、営業利益は8億86百万円(前年同四半期比20.1%増)、経常利益は8億87百万円(前年同四半期比13.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億50百万円(前年同四半期比18.0%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産は152億5百万円で、前連結会計年度末比6億49百万円増加となりました。

流動資産は70億46百万円で前連結会計年度末比2億21百万円増加となりました。これは主に「商品及び製品」が88百万円減少した一方で、「現金及び預金」が3億38百万円増加したことによるものです。固定資産は81億59百万円で前連結会計年度末比4億27百万円増加となりました。これは主に「工具、器具及び備品」が2億15百万円、「レンタル資産」が1億25百万円、「顧客関連資産」が89百万円増加したことによるものです。

負債合計は41億5百万円で、前連結会計年度末比3億74百万円増加となりました。これは主に「短期借入金」が6億98百万円減少した一方で、「長期借入金」が9億66百万円増加したことによるものです。

純資産合計は、111億0百万円で、前連結会計年度末比2億74百万円増加となりました。これは主に「利益剰余金」が2億81百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月15日に公表しました平成28年3月期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,557,883	2,895,971
売掛金	2,348,323	2,413,633
リース投資資産	295,285	314,004
商品及び製品	1,052,022	963,773
仕掛品	5,583	4,831
原材料及び貯蔵品	99,398	101,449
繰延税金資産	166,165	156,942
その他	322,530	217,388
貸倒引当金	△21,908	△21,212
流動資産合計	6,825,284	7,046,782
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	566,871	575,910
機械装置及び運搬具(純額)	390,640	400,824
工具、器具及び備品(純額)	1,807,813	2,023,389
レンタル資産(純額)	973,176	1,099,165
土地	692,163	692,016
建設仮勘定	40,923	44,131
有形固定資産合計	4,471,589	4,835,437
無形固定資産		
のれん	282,169	223,886
顧客関連資産	2,101,718	2,191,472
その他	54,556	51,216
無形固定資産合計	2,438,444	2,466,575
投資その他の資産		
投資有価証券	246,341	239,634
繰延税金資産	150,078	211,094
その他	444,199	425,861
投資損失引当金	△19,391	△19,391
投資その他の資産合計	821,227	857,198
固定資産合計	7,731,261	8,159,211
資産合計	14,556,545	15,205,994

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	556,373	518,917
短期借入金	1,547,836	849,800
1年内返済予定の長期借入金	—	259,113
未払法人税等	139,876	121,482
未払費用	383,579	360,351
賞与引当金	175,178	164,113
その他	619,153	545,320
流動負債合計	3,421,998	2,819,098
固定負債		
長期借入金	—	966,677
繰延税金負債	53,276	54,741
資産除去債務	35,491	36,266
その他	219,977	228,810
固定負債合計	308,745	1,286,496
負債合計	3,730,743	4,105,594
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,051,135	1,051,135
資本剰余金	1,129,434	1,129,434
利益剰余金	7,920,256	8,201,943
自己株式	—	△46
株主資本合計	10,100,826	10,382,466
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,698	5,643
為替換算調整勘定	718,276	712,288
その他の包括利益累計額合計	724,974	717,932
純資産合計	10,825,801	11,100,399
負債純資産合計	14,556,545	15,205,994

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	10,166,283	12,423,334
売上原価	4,287,882	5,328,544
売上総利益	5,878,401	7,094,790
販売費及び一般管理費	5,140,620	6,208,752
営業利益	737,780	886,037
営業外収益		
受取利息	244	2,070
受取配当金	840	780
仕入割引	11,401	11,209
為替差益	36,103	-
債務勘定整理益	6,904	5,848
その他	3,521	5,329
営業外収益合計	59,016	25,237
営業外費用		
支払利息	5,830	14,529
持分法による投資損失	7,465	5,318
為替差損	-	3,719
その他	69	16
営業外費用合計	13,365	23,584
経常利益	783,431	887,690
特別利益		
固定資産売却益	2,614	3,570
特別利益合計	2,614	3,570
特別損失		
固定資産売却損	16	1,240
固定資産除却損	9,378	42
特別損失合計	9,394	1,282
税金等調整前四半期純利益	776,650	889,978
法人税、住民税及び事業税	353,481	390,428
法人税等調整額	△43,250	△50,919
法人税等合計	310,231	339,509
四半期純利益	466,419	550,469
親会社株主に帰属する四半期純利益	466,419	550,469



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	466,419	550,469
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,813	△1,054
為替換算調整勘定	278,548	△10,260
持分法適用会社に対する持分相当額	△4,506	4,272
その他の包括利益合計	272,229	△7,042
四半期包括利益	738,648	543,427
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	738,648	543,427
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	776,650	889,978
減価償却費	559,778	836,439
のれん償却額	64,093	58,384
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,891	△681
賞与引当金の増減額(△は減少)	△32,274	△11,065
受取利息及び受取配当金	△2,304	△4,064
支払利息	5,830	14,529
為替差損益(△は益)	△36,115	3,724
持分法による投資損益(△は益)	7,465	5,318
固定資産売却損益(△は益)	△2,597	△2,330
固定資産除却損	9,378	42
売上債権の増減額(△は増加)	△44,575	△50,262
たな卸資産の増減額(△は増加)	△47,553	104,659
リース投資資産の増減額(△は増加)	△29,741	△18,719
仕入債務の増減額(△は減少)	79,633	△37,253
未払費用の増減額(△は減少)	△12,740	△24,953
その他	△111,098	34,626
小計	1,180,937	1,798,373
利息及び配当金の受取額	2,304	4,064
利息の支払額	△6,068	△12,936
法人税等の支払額	△299,830	△420,384
法人税等の還付額	926	18,706
営業活動によるキャッシュ・フロー	878,270	1,387,824
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△652,140	△880,481
有形固定資産の売却による収入	2,441	4,484
無形固定資産の取得による支出	△1,048	△6,196
投資有価証券の取得による支出	△60	△60
貸付けによる支出	—	△1,883
貸付金の回収による収入	—	30,000
事業譲受による支出	△866,702	△463,285
事業譲渡による収入	188,731	13,097
その他	△2,982	△7,591
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,331,761	△1,311,916
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	543,427	△704,700
長期借入れによる収入	—	1,312,200
長期借入金の返済による支出	—	△70,672
自己株式の取得による支出	—	△46
自己株式の処分による収入	17,889	—
配当金の支払額	△267,500	△267,614
財務活動によるキャッシュ・フロー	293,816	269,165
現金及び現金同等物に係る換算差額	38,972	△6,985
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△120,701	338,087
現金及び現金同等物の期首残高	2,703,099	2,557,883
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,582,397	2,895,971

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,598,487	5,567,796	10,166,283	—	10,166,283
セグメント間の内部 売上高又は振替高	76,144	—	76,144	△76,144	—
計	4,674,631	5,567,796	10,242,428	△76,144	10,166,283
セグメント利益	467,844	341,374	809,218	△71,438	737,780

(注) 1 調整額は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,059,827	7,363,507	12,423,334	—	12,423,334
セグメント間の内部 売上高又は振替高	92,356	—	92,356	△92,356	—
計	5,152,183	7,363,507	12,515,690	△92,356	12,423,334
セグメント利益	542,837	431,827	974,664	△88,626	886,037

(注) 1 調整額は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。